

令和 7 年度版

こども赤十字加盟園(所)

担当者手引き



日本赤十字社埼玉県支部

は じ め に

こども赤十字活動の推進については、日頃、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

こども赤十字は、こどもの心の中に、人間を大切に、健康で安全な生活を送れるような生活態度を養い、互いに仲良くして世界の平和のために役立てるような人間になってもらいたいとの思いから生まれたものです。そして、態度目標として「気づき、考え、実行する」を設定し、現在のこどもたちに不足しがちな自主的・問題解決能力の向上を発達段階に応じて育成することをねらいとしています。

当支部は、こども赤十字の推進をとおして、学習機会や指導資料の提供、人材派遣等、貴園の教育活動を積極的に支援していきます。

先生方のよきパートナーとして、こども赤十字を一層ご活用いただければ幸いです。

令和7年4月

日本赤十字社埼玉県支部

目 次

1	こども赤十字加盟登録(新規・更新)事務手続き	・ ・ ・ ・ ・	P 2
2	こども赤十字資材の請求・送付	・ ・ ・ ・ ・	P 3
3	研修の開催	・ ・ ・ ・ ・	P 4
4	講師(指導者)の派遣	・ ・ ・ ・ ・	P 5
5	その他	・ ・ ・ ・ ・	P 6
	(1) 募金活動の取り扱いについて	・ ・ ・ ・ ・	P 6
	(2) 収集活動の取り扱いについて	・ ・ ・ ・ ・	P 7
6	事務連絡手続きについて(流れ)	・ ・ ・ ・ ・	P 8

お問い合わせ先：日本赤十字社埼玉県支部

事業部 青少年・ボランティア課 青少年係

TEL：048-789-7108

FAX：048-834-1520

MAIL：seisyonen@saitama.jrc.or.jp

1 こども赤十字加盟登録(新規・更新)事務手続き

年度当初にあたり、こども赤十字加盟登録(新規・更新)の事務手続きをお願いします。
新たにメンバーになった園児を含めて、全メンバー・指導者の人数等、必要な情報をご報告いただきますようお願いいたします。

- 「こども赤十字加盟登録(新規・更新)申込票」(様式1)をご使用ください。
- 複写を園控えとして保管してください。
- 更新の手続きは5月末日までにお願いします。

様式1 記入例

日本赤十字社埼玉支部
事業部 青少年・ボランティア課あて
FAX:048-834-1520
Email:seisyonen@saitama.jrc.or.jp

こども赤十字加盟登録(新規・更新)申込票

様式 1

該当するものを○
で囲んでください

申込日 令和 7 年 4 月 14 日

園(所)名		日赤さいたま幼稚園		公印 (更新の場合は省略可)		
所在地	住所	〒3300064 埼玉県さいたま市浦和区岸町 3-17-1				
	TEL	048-789-7108	FAX			048-834-1520
	Email	seisyonen@saitama.jrc.or.jp				
園(所)長名		関 充二	こども赤十字 担当教職員名	出南 杏里		

登録人数	学級数 グループ数	メンバー(園児)数			全教職員数
		男	女	計	
	8	58	62	120	32

本園での主な活動 (複数回答: □へのチェック、カッコ内への記入をしてください)

☒健康・安全への取り組み (**食育、手洗い・うがい、避難訓練**)

☒奉仕活動 (**老人施設訪問、ペットボトルキャップ回収、一円玉募金**)

☒親善・交流活動 (**自治会のお祭り、地域清掃**)

☐その他 ()

通信欄

記載責任者 職名 教諭 氏名 反管 梨乃

※ 支部事務局使用欄 受付日 令和 年 月 日

園(所)代表のメー
ルアドレスをご記
入ください

学級数・グループ数
をご記入ください

貴園(所)で行って
いる活動(複数回
答)をご記入くださ
い。

当支部から送付す
る資材や資料等
について、あればよい
資材など、ご要望等
ございましたら、ご
記入ください。

2 こども赤十字資材の請求・送付

新しくこども赤十字の仲間として迎える園児に、そのメンバーである「証し」のワッペン等を提供します。また、クラス単位で活用していただきたい資材を提供します。

○資材申込書の記入について

- － 「資材申込書」（様式 2）を、登録更新申込票（様式 1）と一緒に送付してください。
- － 資材のお届けには通常 2 週間ほどかかりますので、お早めにお申込みください。
登録式等の都合でお急ぎの場合、あわせてお電話でご連絡ください。
- － 在庫の状況により、資材の発送が遅れる場合があります。

◆提供資材

	資材名称	提供数	活用例
①	こども赤十字ワッペン	新メンバー及び指導者数	制服、胸、名札、帽子等につけます
②	やくそく	クラス数（グループ数）	教室等に掲示します
③	アンリー・デュナン肖像画	クラス数（グループ数）	教室等に掲示します
④	青少年赤十字マークシール	上限 3 枚	青少年赤十字関係資材等に活用します

◆指導資料

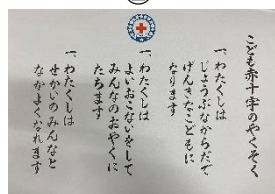
	資料名称	提供数	活用例
⑤	小冊子「赤十字の父アンリー・デュナン」	上限 3 冊	指導資料として活用します
⑥	小冊子「赤十字ってなあに？」	上限 3 冊	指導資料として活用します
⑦	青少年赤十字指導者手引き	上限 1 冊	こども赤十字担当教職員が閲覧します

①



直径 5.5cm

②



③



B4 判

④



B5 判・シール 20 点

⑤



A5 判・13 ページ

⑥



A5 判・15 ページ

⑦



A4 判・96 ページ



◆その他

次の資料は随時、お届けいたします。

青少年赤十字指導情報（本社発行）	加盟園に各 1 部程度、年 1 回
青少年赤十字フォトニュース（埼玉県支部発行）	加盟園に各 1 部程度、年 1 回
県指導者協議会会報（埼玉県支部発行）	加盟園に各 1 部程度、年 1 回

様式 2 記入例（様式 1 記入例の数値参照）

No.	資 材 名	申込数	
1	こども赤十字メンバー章(ワッペン)	55	新規園児、転入、破損・紛失、新規指導者分を記入 (新規園児 45 + 10)
2	やくそく	18	
3	デュナン肖像画	18	クラス数・グループ数等を記入
4	青少年赤十字マークシール	3	
5	小冊子「赤十字の父アンリー・デュナン」	3	
6	小冊子「赤十字ってなあに？」	3	
7	青少年赤十字指導者手引き	1	
通信欄			ご希望の資材を登録式で使用される場合は、ご記入ください (※受領希望日の 2 週間以上の余裕をもって、ご連絡ください)
登 録 式 令和 7 年 4 月 26 日			
資材受領希望日 令和 7 年 4 月 12 日			

3 研修の開催

日本赤十字社埼玉県支部では、こども赤十字指導者(幼稚園・保育園の教職員)を対象とした研修会を以下のとおり予定しています。

研修名	詳細
令和7年度 埼玉県こども赤十字 指導者研修会	期 日 : 令和7年8月18日(月) 会 場 : 日本赤十字社埼玉県支部 内 容 : (1)講話「こども赤十字について」 (予 定) (2)グループワーク「防災教材の効果的な活用方法」 (3)講習「とっさの事故に対応する幼児安全法」 その他 : 交通費は当支部が負担します。
赤十字幼児安全法 短期講習	内 容 : <乳幼児の心肺蘇生コース> 子ども(未就学児)の心肺蘇生とAED、気道異物除去について <子どものケガの手当コース> 子ども(未就学児)の事故の予防とけがの手当について その他 : 受講費用 <乳幼児の心肺蘇生コース> 300円 <子どものケガの手当コース>150円 ※お子さんと一緒に参加する場合、1人につき保険代100円追加 開催日程および受付状況については、日本赤十字社埼玉県支部のホームページから ご確認ください。 <リンク> https://www.jrc.or.jp/chapter/saitama/

4 講師(指導者)の派遣

園で企画する以下の事業に、要望に基づき、当支部から講師として指導者を派遣します。

(例) 教職員・保護者対象幼児安全法講習会

(問い合わせ先: 救護・講習課 講習係 TEL:048-789-7109)

こども赤十字に関する講話

(問い合わせ先: 青少年・ボランティア課 青少年係 TEL:048-789-7108)

派遣をご希望される場合は、事前にお電話により日程の調整をいただき、次の様式によりお申込ください。派遣費用は無料です。

様式例

<p>(様式)</p> <p>日本赤十字社埼玉県支部事務局長 あて</p> <p style="text-align: center;">こども赤十字(登録式・園内研修・行事) にかかる職員の派遣について(依頼)</p> <p>標記について、下記のとおり開催したいので、講師を派遣して下さる ようお願いいたします。</p> <p>1 日 時 2 場 所 3 依頼内容 4 対象と人数 5 その他</p>	<p>〇 〇 〇 第 〇 号 令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>〇〇園(所)長 印</p> <p>担 当 : _____ T E L : _____ F A X : _____</p>
---	--

5 その他

(1) 募金活動の取り扱いについて

日本赤十字社の事業全般に活用させていただく活動資金及び以下の募金については、日本赤十字社埼玉県支部で受け付けております。

区分	内容	特徴
赤十字活動資金	日本赤十字社が行う 人道支援活動に使用	平時には、災害時に対応する備えとして災害救護訓練やボランティア育成、救援物資の備蓄など、災害時には、被災地での救護活動などに使われます。
義 援 金	国内で発生した災害 に対して受付	受け付けた義援金は、義援金配分委員会（被災都道府県が主体となって構成される。赤十字は構成メンバーの一員）で立てられた配分計画に基づき、市区町村を通じて全額が被災された方々へ届けられます。

海外救援金	海外での自然災害や紛争に対して受付	受け付けた救援金は、日本赤十字社をはじめ世界各国の赤十字・赤新月社が行う緊急国際支援や開発協力活動などの活動資金として使われます。
一円玉募金	青少年赤十字が行う教育支援活動に協力	途上国の子どもたちのため、教育支援や衛生改善などに使われます。青少年赤十字では、世界で苦しんでいる同世代の子どもたちのために、日頃のお小遣いの中から出せる金額で募金活動を行うことによって「奉仕」の心を学ぶとともに、その国の文化や生活に関心を持って自ら調べることで「国際理解・親善」を深めます。 ※募金は1円玉に限りません ※金融機関へ硬貨をお持ち込みいただく際は、事前に硬貨を拭いて汚れを落とし、概算金額をお調べください

○日本赤十字社埼玉県支部へ寄託いただく場合

ご寄付は金融機関窓口を通じた振込をお願いいたします。なお、協力金融機関(埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、ゆうちょ銀行)からの振込みの場合は専用振込用紙により手数料を免除いただいておりますので、専用振込用紙の送付を希望される場合は、当支部担当者までお問い合わせください。

当支部に直接お越しになり、募金の引渡式(受領式)を希望される場合は、事前にお電話により日時等をご相談くださいますようお願いいたします。なお、振込をお願いしていることから、引き渡しは原則現金ではなく目録とし、また、式の様子は当支部の各種広報に使用させていただきますことを予めご了承ください。

(2) 収集活動の取り扱いについて

日本赤十字社では、現在、物品(使用済み切手、書き損じ葉書等)の取扱いは実施しておりません。該当する団体等へ直接お申し出ください。

6 事務連絡手続きについて(流れ)

